

YMCA World

www.ymca.int

December 2010



Famous Figures in YMCA History



Sir George Williams: ジョージ・ウィリアムズ

YMCA運動の開拓者



ジョージ・ウィリアムズは、1821年10月11日にイギリスのサマーセットにて生まれました。1836年、彼は服の仕立屋であるホームズ氏の見習いとして働くために、ブリッジウォーターに移りました。1841年まで、ウィリアムズはロンドンにあるHitchcock & Rogersの店で服の仕立屋の見習いとして働き続けました。彼は、店と同じ建物の中にある、店が提供する宿泊所に寝泊りし、ロンドンにひしめく15万人の労働に従事する青年の一人となりました。

ジョージ・ウィリアムズは、強い信仰と精神性をもった人でした。『孤独、誘惑、そして多くの人びとの無信仰さが取り巻くなか、共に労働に従事する青年の中から「友となる者」を見出した、という祈りが彼の心を満たしました。一ヶ月も経たずに、24歳の敬虔なキリスト者青年で、聖書を学ぶ学生であったJ. Christopher Smithによる礼拝を、家で守るようになりました。』¹彼は、ウィリアムズのルームメートになりました。彼らは、「お互いの向上のために」聖書のクラスや文学の会を一緒に始めました。

1844年6月6日、ジョージ・ウィリアムズと10人のキリスト者青年は、彼の部屋で行われた会合にて、最初のキリスト教青年会（YMCA）の設立を決めました。彼は、「私たちの目的は、聖書のクラス、家族や社会での祈祷会、相互向上の会、その他信仰の会などを通して、労働に従事する青年たちの精神状態を改善することにあります」²と述べました。

¹ Doggett L.L, *History of the Young Men's Christian Association*, pp. 36-37

² Extract from the *First Annual Report of 6th Nov 1845; Letters and Memoranda of the first and early Secretaries, Symons, Creese, Tarlton and Shipton* (YMCA Archives, Birmingham University)

委員会が、会の最初の規約や、民主主義に基づいた運営方針を作成しました。会の構成は、選出された会長、副会長、書記、会計、そして委員でした。今日もなお、世界YMCA同盟を含む多くのYMCAでは、同様の方針と委員会構成に従っています。

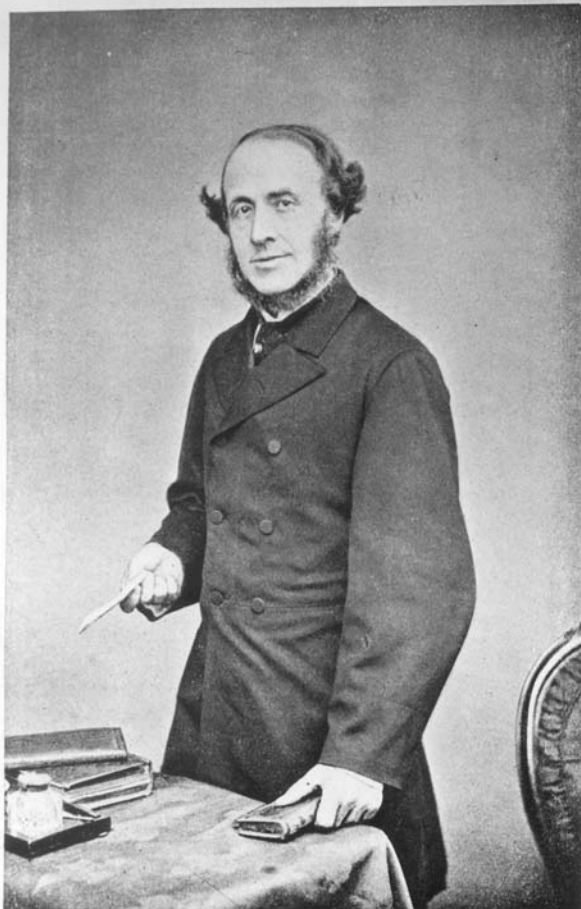
1847年まで、ジョージ・ウィリアムズはYMCAの発展に心と魂を注ぎました。YMCAは、ロンドンで貿易や商売に従事する青年のみではなく、その他の青年にも門戸を開き始めました。

ヨーロッパで活動をしていた多くの祈禱会は、YMCAの名のもとに活動するようになりました。フランス、スイス、ドイツ、アメリカ、オーストラリア、南アフリカ、インドなどの他国でもYMCAは発展し始め、ジョージ・ウィリアムズとその友人たちによって設立されたロンドンYMCAは、これらの国々との連絡を行い、また彼らの年次集会に他国からの代表者を招待する“非公式な”センターとなりました。1855年、世界YMCA同盟が設立され、YMCA運動のための国際的な事務局の機能を果たすようになりました。

ジョージ・ウィリアムズは世界YMCA同盟の設立に尽力し、YMCA運動の世界的な広がりと共に活動を続けました。1891年、アムステルダムで行われた世界YMCA大会に出席し、彼は「Father of Christian Association キリスト教界の父」として表彰されました。

1894年、ウィリアムズはビクトリア女王から勲爵士の称号を贈られ、彼の死後、ウェストミンスター寺院のステンドグラスの窓に記念されています。

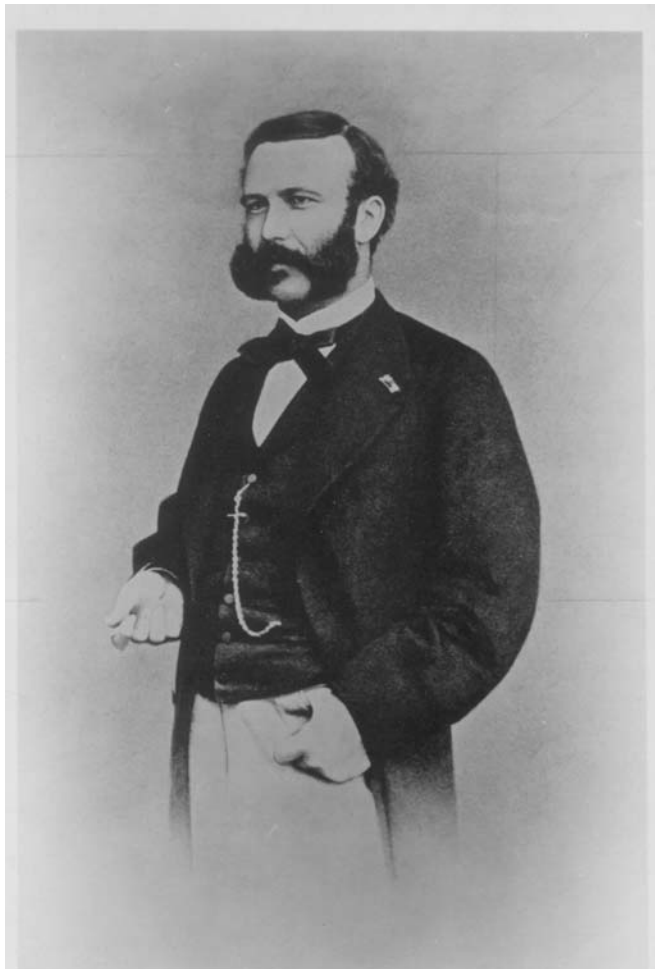
ジョージ・ウィリアムズはセント・ポール大聖堂に埋葬されました。



SIR GEORGE WILLIAMS.
From a photograph taken about 1870.

Henry Dunant: アンリ・デュナン

世界YMCA同盟の設立メンバー



赤十字の創業者であり、フレデリック・パシーとともにノーベル平和賞を初めて受賞したことで知られるアンリ・デュナンは、強い信仰と情熱により、20年間ジュネーブと世界中でYMCA運動の発展に貢献しました。

強い信仰に動かされ、アンリ・デュナンは国際的な慈善団体の創立に貢献しました。デュナンにとって、慈善活動は空虚な言葉ではありませんでした。まず最初にジュネーブにて母親とともに、そして20歳以降は慈善基金の協会のメンバーとして、デュナンは病人と経済的に困難な人を癒すために訪問しました。また、彼は囚人に聖書を読みました。回想録で、彼は「平和な中で傷ついた人々の世話をしましたが、それ以前は戦争で傷ついた人々の世話をしました」と書いています。

ジュネーブYMCA設立 (1852年)

デュナンは、福音主義の復活に触発され、複数の祈りの会、聖書研究会へ参加しました。最も有名な会は、後にジュネーブのYMCA設立メンバーになるメンバーが多く参加していた「木曜日の会」でした。デュナンは、このような祈りの会を、更に組織的に、効率的にし、YMCAの運動が一過性のものでなく、継続的なものになるよう人びとの情熱を確固たるものにしようとしました。1852年の秋、有名なフランス人牧師の Adolphe Monod がジュネーブを訪問した際に、アンリ・デュナンはジュネーブにYMCAを設立するために他の友人たちを説得しました。そして、デュナンは理事会のメンバーの一人として選任され、他の者より情熱をもち、YMCA運動の財政、人的資源を確固たるものにするために働きました。

世界YMCA同盟設立に向けて (1852-1855年)

1852-1854年の2年間のみ、アンリ・デュナンは理事会の下、ジュネーブYMCAの連絡主事

として働きました。この時に、アンリ・デュナンは世界YMCA同盟の設立の中心的な役割を担い、世界YMCA同盟の設立を必然的にする関係性を辛抱強く築きました。

同時期の1852年から1859年の間、デュナンは福音同盟との連絡も担当していました。1846年以来、この同盟のメンバーはヨーロッパの様々な都市で行われた国際会議にて一緒になりました。実際に、最初のYMCAの国際会議は1855年にパリにて行われ、万博と福音同盟の国際会議と同時期に開催されました。

デュナンは、ジュネーブYMCAと同じような、ヨーロッパ全土の多くの信仰に基づいた小さなグループとの連絡を数年間担っていました。彼は、ジュネーブの祈りの会にて確かなものをもたらしたく、1852年の4月、彼は「私たちのコミュニケーションは、私たちのもとからゆっくりと去っていく多くの人たちの関心事でしたが、現在、私たちの会議は、更に頻繁に、強められ、活気があります」と書いています。彼は、他のグループとの関係をとても早く築き始め、それは必然的に「有名な」回覧を発行することになりました。1853年の時点で、回覧は75以上のグループに送られ、運動からの新着ニュースを共有していました。

このすぐ後、パリYMCAはフランス語圏のYMCAの中心をパリにすることを提案しました。ジュネーブYMCAはこの提案に懸念をもち、このような組織を多くつくることは、運動精神の深い理解の妨げになると考えました。デュナンは、この提案はとても限定すぎると考え、1853年2月に彼は次のように書いています。「私は提案されたプロジェクトは好ましくないと考えます。なぜなら、このプロジェクトは、イギリス、スコットランド、オランダ、アメリカなど他の親愛なる友人たちのことを考慮していないように思えるからです」デュナンの考えは他の人たちに受け入れられ、彼が思い描く更に包括的な国際的な集まりは、1855年に9カ国のYMCAから代表者がパリに集い最初の国際会議が開催され実現しました。

1855年の初め、デュナンは後に世界YMCA同盟の設立のためにデュナンを支援する人物となるアメリカYMCAのW.C. Langdon 主事へ手紙を書きました。「約6年間、私はYMCA、私たちの友愛の連絡、報告、全ての側面において発展している関係性を夢見てきました。4年前、私は一人でエキキュメンカルな連絡を始め、最初は一人で負担を担ってきました。」

1855年8月、デュナンは最初のYMCA国際会議に参加するためにパリを訪問しました。彼は正式な役職を担っていませんでしたが、会議の最後には、世界YMCA同盟の6人の創立メンバーと会議に参加した99人の代表者に賞賛されました。この会議にて、世界YMCA同盟の基本的なミッションとしてパリ基準が採択され、デュナンによって発展した通信システムに基づくシステムの導入が提案されました。

彼の功績にもかかわらず、アンリ・デュナンは論議を呼ぶ人物であり、YMCAと世界YMCA同盟、後に国際赤十字の設立のために一緒に尽力した人びとの間では批判もおこさせます。1867年、彼は倒産と詐欺行為の容疑をかけられ汚名を着せられました。このことにより、YMCAから追放され、赤十字の国際委員会も去ることになりましたが、ノーベル平和賞の受賞は、彼の汚名を返上し、YMCA、赤十字の歴史家たちは彼の重要な働きを認めています。彼の死後から1世紀後、彼の世界的な友愛、又この計画遂行のための支援を得る能力は、人びとから多くの尊敬の念を得ているのです。

John R. Mott: ジョン・R・モット

偉大なるYMCAリーダー、ファンドレイザーの一人



ジョン・R・モットは、1865年5月25日にニューヨークにて生まれました。1885年、彼はコーネル大学の生徒になり、学生YMCAの会長として会員を増やし、学生YMCAの建物建設のためにファンドレイズを行いました。1888年、彼は哲学と歴史の学士を取得し卒業して、アメリカとカナダの大学間のYMCAの主事として27年間働きました。1915年から1928年までは、YMCA国際委員会（後の世界YMCA同盟）の総主事として働き、1926年から1937年まで世界YMCA同盟会長の役割を担いました。

学生キリスト教運動の開拓者

学生として、モットは最初の国際的なキリスト教諸教派間の学生会議に参加しました。卒業後、モットは1895年に世界学生キリスト者連盟を組織し、そして連盟の総主事として、インド、中国、日本、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパや北東の地域の学生運動の組織に尽力しました。

「信仰の人、彼は素晴らしい頭脳と心を神から授けられました。彼の身体的、精神的、霊的な贈り物は、彼を世界的レベルで多くのキリスト教団体の先頭に立たせ、それらに正当に取り組みました。彼は、1910年のエジンバラ世界宣教会議のほとんどのセッションの議長を務め、その後行われた委員会の議長も担っていました。モットは、彼の時代の偉大なるキリスト教運動の担い手であり、「世界のキリスト者の協力と連帯の作り手」¹であったと言われています。

継続した遺産：ジョン・R・モットの家

1937年に世界YMCA同盟の会長の役割を担い終えた後も、ジョン・R・モットは引き続きYMCA運動に活発に貢献しました。特に、彼は世界YMCA同盟の事務所を設ける恒久的な場所をジュネーブで探すことを気にかけていました。1942年に世界YMCA同盟の事務所が、37 Quai Wilson のジュネーブ湖をみわたす6階建ての建物へ5回目の引越しをした時、モットはこの最適な立地は世界YMCA同盟の恒久的な事務所の場所だと確信しました。

¹ David, M.D., World Alliance historian, 2010

1942年、世界YMCA同盟はQuai Wilsonの2つの階と地下室を貸し出しました。1953年、ジュネーブ州が世界YMCA同盟による戦時捕虜への支援活動を評価し、世界YMCA同盟へ値引きした価格で建物を売ってくれました。「建物の購入とその修繕は、YMCAの偉大なるファンドレイザーであるジョン・R・モットの努力なしでは成し得なかったことです。アメリカのJames Stokes Societyは多大な寄付をし、またイギリス、アメリカの個人やドイツのYMCAも寄付をしました。多くの同盟も献金、装飾、部屋の家具の寄贈を行いました。この新しい建物を、長年にわたるモットの偉大なリーダーシップへ敬意を表して、ジョン・R・モットの家と呼ぶことにすぐに決まりました。」²その後、世界YMCA同盟は、より小さな建物へ引っ越しましたが、まだジョン・R・モットの家と呼ばれています。

功労章とノーベル平和賞の受賞

第一世界大戦中にYMCAがウィルソン大統領にサービスを提供した時、モットはNational War Work Councilの総主事になり、功績を称えられて功労章を受賞しました。また、平和を推進するために活動した国際的なプロテスタント学生団体を設立し推進したことを表され、ノーベル平和賞を1946年に受賞しました。

² *Report of the 1st World Council.*, 1955, pp.148-149; Shedd. *op. cit.*, p.528

Dr. Charles Dunbar Sherman: チャールズ・ダンバー・シャーマン グローバル・サウス出身の最初の

世界YMCA同盟会長



チャールズ・ダンバー・シャーマンは、リベリアYMCAにボランティアとして参加し、1951年にリベリアYMCA会長となりました。シャーマンは、1955年にパリで行われた世界YMCA同盟100周年記念へリベリアの代表者を連れてきた際に、四年の任期を二期にわたる世界YMCA同盟の会長として選任されました。彼は、発展途上国出身の初めての世界YMCA同盟会長でした。会長として、シャーマンは、人種主義に反対するYMCAの運動を推進したことも含め世界のYMCA運動に重要な貢献をしました。

人種主義と差別への反対推進

世界YMCA同盟に人種主義の問題を最初にもたらしたのは、チャールズ・ダンバー・シャーマンであり、この問題に関する2つの決議を1961年、1965年に採択しました。また、シャーマンは、各国のYMCA運動が自分たちのYMCAやコミュニティにおける差別を根絶するガイド

ラインを開発する世界YMCA同盟の委員会の委員長も務めました。

グローバルな運動強化

「世界YMCA同盟の会長として従事した期間、チャールズはYMCAの方向性の決定と貢献の必要性、そしてグローバルなYMCAの存在の正当性を繰り返し強調しました。」¹ シャーマンは、各国のYMCAの協力を強める必要性を感じ、世界YMCA同盟は国際的な協力の推進を手助けするべきだと考えていました。彼の任期中、新しく10カ国のYMCAが世界YMCA同盟に加盟しました。

信仰の人

彼は教会のリーダーとしても高く評価されていました。1947年、Trinity Episcopal Churchの教区委員として選任され、後にカカタにあるSt. Augustineや、RobertspotにあるSt. John Irving Memorialの教区委員としても選任されました。また、シャーマンは国際的なレベルでも活躍し、世界教会協議会の経済発展協議会の議長も務めました。

偉大な学者、経済学者

1919年9月27日、シャーマンはリベリアのグランド・ケープ・マウント州にて生まれました。彼は、リベリア政府から優秀な学生へ提供された新しい外国の奨学金プログラムの前に、1937年に西アフリカ大学を卒業しました。その後、チャールズはアメリカへ行き、1944年に優秀な成績で経済専攻の修了書をHoward大学から取得し、後に経済学士、財政の修士を修めました。そして、彼はリベリア人で初めての経済学者となりました。

「チャールズ・シャーマンは、ジョン・R・モット以降の世界YMCA同盟の会長たちの中で、最も偉大であった会長の一人です。彼は、知的で、国連などの国際的な会議で彼の政府を代表する世界的な人物でした。彼は、偉大な経済学者、政治家、教会リーダー、YMCAリーダー、リベリア人で最初の経験豊富な経済学者でした。彼の政治界と宗教界の両方におけるリーダーとしての素晴らしい能力は、彼の国から、そして国際的にも賞賛を得ました。」²

¹ Wanyama O., *Our God is Marching On*, 2000, pg 19

² David, M.D., *World Alliance historian*, 2010

James Naismith: ジェームズ・ネイスミス

バスケットボールの考案者



ジェームズ・ネイスミスは、1861年11月6日にオンタリオのアルモンテというカナダの首都オタワから数キロメートルのところにある小さな町で生まれました。

1883年、彼はアルモンテから引越してマギル大学に入学し、神学の学士を修めました。マギル大学での勉強中、ネイスミスはモンリオールYMCAのD・A・バッジ総主事から影響を受け、彼のキャリアをYMCAで追い求め、マサチューセッツのYMCA国際研修学校（後のスプリングフィールド大学）で学びました。

ネイスミスは、1890年に研修学校にて学生として学び、1891年に体育学部のディレクターであったルーサー・ハルサー・ギューリック博士から教員として参加するように頼まれました。心理学のセミナーにて、ギューリック博士は彼の学生たちに新しいゲームを考案してみるように言いました。ギューリック博士は、面白く、覚えやすく、冬に屋内で遊ぶことができるゲームを探し求めていました。このようなゲームは、研修学校でも国内のYMCAでも望まれているものでした。ネイスミスは、このような条件にあったゲームを考案する方法は、すでに知られている複数のゲームから要素を取り出し、合成することであると考えました。

同時期に、ギューリック博士は、体育科の毎日の授業で行われるいつものエクササイズ、行進、準備運動に関心を示さない学生のクラスをネイスミスに担当させました。この青年たちのグループを熱心にさせることに、すでに3人の教師が失敗していました。

ネイスミスは、バスケットボールの考案を振り返り次のように書いています。「彼が私を手を負えないクラスの担当を私に任せられた時、私はその役割をさせられたと感じていました。しかし、彼が国の全てのディレクターが成し遂げなかったことを私に頼んだとき、最後のわらなのだと感じ

ました」

ネイスミスは、青年たちのクラスに苦戦しました。彼は、ラグビーとサッカーを修正する試みをしてきました。「私の希望をこの二つのゲームに託しましたが、私はまた青年たちの関心を得ることに失敗し成功の兆しはほとんどないように思えました」と彼は書いています。

その日のネイスミスの挫折感、しかし決心した精神から生まれでたゲームが、世界中に広がり、年齢に関わらず何百万人もの選手たち、観客を魅了したのです。「私が机に座っていた時、私は哲学的な面からゲームを勉強し始めました。今まで、私は一つのゲームをみて、私が捜し求めているものが見つらず失敗していました。しかし、今回の私はゲームを全体でみて勉強したのです」

ネイスミスは、現在のチームゲームの要素を入念に勉強し、新しいゲームに取り入れたい要素を考えました。「私の最初の一般化は、全てのチームゲームはある種のボールを使用しているということです。ですので、新しいゲームはボールを使用したゲームであるべきだと考えました。」彼は、今までのサッカーボールサイズのボールが適当であるという結論に達しました。なぜなら、それより小さいボールは操ることが難しく、どこかに隠すことができ、ゲームをするためには器具が必要であり、ゲーム方法を学ぶことを難しくさせるからです。

ネイスミスは、ラグビーの人気のある要素であるタックルは、屋内の木製の床で行うとけがをおこしやすいので問題であると考えました。「なぜタックルが必要なのでしょう」と自分に問いかけ、選手がボールを持って走ってもいいため、他の選手はタックルをして止める必要があるのです。このことを考え、私は机で立って大きな声で「もし選手がボールをもって走ることができなければ、タックルをする必要がなく、けがを起こす要素がなくなる」と叫びました。そして、彼はゲームは目標物があるべきで、ある種のゴールが必要であると考えました。しかし、彼はサッカー、ラクロス、ホッケーで使用されているゴールを除外し、子どもころに遊んだ雄ガモ落としのゴールがよいと思いつきました。「このゲームを思い描き、もしゴールが水平ではなく垂直だとしたら、選手はボールを弧の形に投げなければいけません。その場合、ゲームの危険性は低くなるでしょう。垂直のゴールは私が探し求めていたので、私は心の中でそれを思い描きました。箱を床の両側の端に置き、毎回ボールがゴールに入るたびにゴールとみなされるのです。しかし、私が見逃していたことが一つありました。もし、9人の選手がゴールの周りでディフェンスをしたら、ボールがゴールに入るのは不可能です。しかし、選手の頭上にゴールを設けると、この種のディフェンスは意味がなくなります。」

ネイスミスは、新しいゲームを授業で試す準備ができ、1時間もかからずに13のゲームのルールをメモに書きました。速記者がそれらをタイプしました。彼は、ビルの管理者に一辺が18インチの四角い二つの箱を持ってくるように頼みました。「そのような箱はありませんが、私があるものを教えましょう。もしあなたの希望に合うならば、それは貯蔵室にあった二つの古い桃のバスケットです」と管理者は言いました。数分後、バスケットを腕の下にはさみ、釘と金槌を手にもち、ネイスミスはコート両端のバルコニーの下に棒にバスケットを取り付けました。そして、ルールを貼り付け、「手に負えない」クラスの生徒たちを横たわって待ちました。

クラスには18人の生徒がおり、ネイスミスはもしこのゲームを試して上手いかなかったら、彼らにもうゲームの試みはしないと約束しました。彼らは、ルールを学び、9人ずつの二つのチームに分かれて、歴史上最初のバスケットボールを投げました。それは、1891年12月21日のこ

とでした。

ゲームは、最初から好評で、ネイスミスのクラスが楽しいという評判が広まりました。数日間うちに、ネイスミスのクラスは観客を魅了しました。学校の近くにある女子学校の先生がゲームを見て学び、最初の女子バスケットボールチームをつくりました。生徒の一人であったフランク・メイハンが、ゲームに名前をつけることを提案し、彼とネイスミスは「バスケットボール」と名付けました。

最初の頃のゲームは、「多くの叫び声とみっともない歓声をともなう騒々しいゲーム」と言われていました。この点に関しては、時を経て変化していきました。ネイスミスは、「最初のゲームが終わったとき、私は今ギュリック博士のところへ行き、体育の授業を面白くし、新しいゲームを考案するという二つの不可能に思われた仕事を成し遂げましたと伝えることができると感じました」と言っています。

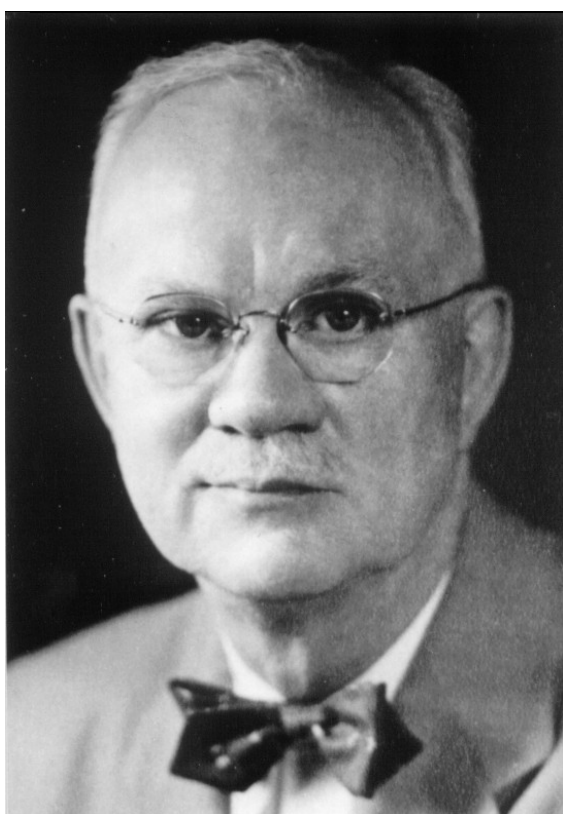
ネイスミスは、ゲームとそのルールの開発を引き続き 5 年間行いました。その後、彼はスプリングフィールドからデンバーへ移り、YMCAの体育授業のディレクターとなり、医学博士になるための勉強をしました。

ネイスミス博士夫妻は、バスケットボールがオリンピック競技になった 1936 年のオリンピックに参加しました。そして、1939 年に彼は 78 歳で亡くなりました。



Paul William Alexander: ポール・ウィリアム・アレクサンダー

ワイズメンズクラブ国際協会の創設者



最初のワイズメンズクラブ

1920年、地元のYMCAを支援するために、アメリカのオハイオにあるトレドでYMCAに関心をもつ人々の午餐会が組織されました。そのうちに、彼らは自分たちをワイズメンと呼び始め、トレドYMCAワイズメンズクラブとして知られるようになりました。

この新しい午餐会の中に、若い弁護士であったポール・ウィリアム・アレクサンダーがいました。彼は、この青年たちの会の情熱、そしてYMCAの役に立ちたいという純粋な支援の気持ちを感じました。アレクサンダーは、ビジネスと社会的関係の良さも加わったYMCAからのボランティアメンバーたちで組織されたクラブを思い描きました。

ポール・ウィリアム・アレクサンダーは、ロータリーなどの他の団体の規約を学び、後に、オハイオ・トレドワイズメンズクラブとして知られる会のための規約と細則をつくるために、いくつかの良い特徴をもった団体のものを取り入れました。

名前は？

どのように彼らはワイズメンズという言葉で、自分たちメンバーと会を呼ぶために使用し始めたのでしょうか？ポール・ウィリアム・アレクサンダーは、またこの決定過程にも関わっていました。ワイズメンという言葉は、トレドYMCAの発行物の執筆者によって使われていました。アレクサンダーは、その執筆者に言葉の使用の許可をお願いし、ワイズメンズクラブという名前が

始まったのです。

ポール・ウィリアム・アレクサンダーは、当時検事補佐でしたが、ワイズメンズクラブ国際協会が1922年に正式に組織されたときに、最初の国際会長になりました。1926年の国際大会にて、アレクサンダーは「名誉会長」とされ、1929年の国際大会では投票権を持つ常議員会の終身メンバーシップを贈られました。

さらにアレクサンダーについて

ポール・ウィリアム・アレクサンダーは、友人やワイズメンズクラブの間ではアレックスとして知られていますが、彼は1888年にオハイオのトレドで生まれました。彼はデニソン大学とハーバード法科大学院を卒業した後、法律の仕事に数年間従事し、1918年ロレン・マーシャル・イートンと結婚しました。夫妻は、娘のコンスタンスと孫のマーシャル・ベン・オトウエルに恵まれました。

1937年、彼は青少年家庭裁判所の裁判官となり、定年まで素晴らしい裁判官でした。1962年にジョージ・ウィリアムズ大学から贈られた名誉人文学博士も含めいくつかの賞を受賞しました。

彼のワイズメンズ、裁判官、他の二つの国の行政機関での仕事とリーダーシップにくわえて、彼は20のトレド団体の理事会といくつかの州と国の常議員会でも役割を担いました。このような賞賛にくわえ、1958年にはワイズメンズの特集をした「World Communique」（世界YMCA同盟の発行物）の1-2月号の表紙に彼の写真が掲載されました。

長年の遺産

彼は、ワイズメンズクラブ国際協会により長く記憶に留められる遺産を残しました。彼は、「フィンランディア」のメロディにのせて歌う正式なワイズメンズソングである「心新たに立ち上がろう」の作詞者です。また、彼は委員の就任の際に歌う歌の作詞もしました。このような就任式で、彼は、長年にわたり多くの国際委員やディレクターを就任させました。この同じ就任式がローカルクラブの委員就任の際にも行われました。これらに加え、クラブへの新しいメンバーを迎える際に歌われる「Y's Men Induction Ceremony」の作詞も行いました。

ワイズメンズクラブ創立時の働きの中で、アレックスは、青年がYMCA職員として働くことに関心をもつようなプログラムを開発する担当でした。このプログラムは、ポール・ウィリアム・アレクサンダー奨学金として知られるようになります。

1962年、国際評議員会は、ポール・ウィリアム・アレクサンダーの誕生日である12月8日を祝うことに決め、また彼に敬意を表して名前をつけた奨学金を推進する日としました。

彼は、1967年6月29日に亡くなり、アメリカYMCAの評議員会にて記念の会が行われました。

■YMCAの歴史年表

1844年：ジョージ・ウィリアムズがイギリスでYMCA運動を始めました。

1852年：アンリ・デュナン（ノーベル平和賞受賞者、赤十字設立者）がスイスのジュネーブでYMCAを設立しました。

1855年：第1回世界YMCA大会がフランスのパリで開催され、「パリ基準」が採択されました。

1891年：ジェイムズ・ネイスミスが、アメリカのYMCAスプリングフィールド大学にてバスケットボールを考案しました。

1907年：YMCAがアメリカに移住してきた青年を支援しました。

1939-1945年：第二次世界大戦中、YMCAは捕虜を支援しました。

1946年：ジョン・R・モット（長年のYMCAボランティア、世界YMCA同盟職員）がノーベル平和賞を受賞しました。

1947年：世界YMCA同盟は、国連の経済社会理事会から協議資格を得ました。

1955年：世界YMCA大会100周年記念がパリにて開催されました。

チャールズ・D・シャーマン博士が、グローバルサウス出身の最初の世界YMCA同盟会長に就任しました。

1973年：ウガンダのカンパラで開催された第6回世界YMCA大会にて「カンパラ原則」が採択されました。

1998年：YMCAの現代におけるミッションステートメントであるチャレンジ21が、ドイツのフレチェンで開催された第14回世界YMCA大会にて採択されました。

2005年：世界YMCA大会150周年記念がフランスのパリとインドのムンバイで開催されました。

2010年：第17回世界YMCA大会が香港にて開催されました。

今日：YMCAは、4500万人の人々が125の国で活動している世界的なエキュメニカル運動で、世界中で青年を育成し、コミュニティを変革しています。

YMCA: Timeline of Historical Highlights

1844
George Williams establishes YMCA Movement in England

1852
Henry Dunant (Nobel Peace Prize winner and founder of the Red Cross) cofounds YMCA in Geneva, Switzerland

1855
1st YMCA World Conference in Paris, France. "Paris Basis" mission statement is adopted.

1891
James Naismith invents Basketball at YMCA Springfield College, USA

1907
YMCA supports young migrants arriving in the USA.

1939-1945
YMCA supports prisoners of war during World War II.

1946
John R. Mott (long-serving YMCA volunteer and World Alliance staff) receives the Nobel Peace Prize.

1947
World Alliance of YMCAs awarded consultative status with UN ECOSOC.

1955
100th Anniversary of the 1st YMCA World Conference in Paris.

1955
Dr. Charles D. Sherman becomes the 1st World Alliance President from the Global South.


1973
The "Kampala Principles" are adopted at the 6th World Council in Kampala, Uganda.

1998
Challenge 21, the YMCAs contemporary mission statement, is adopted at the 14th World Council of YMCAs in Frechen, Germany.

2010
17th World Council of YMCAs in Hong Kong

2010
150th Anniversary of the 1st YMCA World Conference is celebrated in Paris, France and Mumbai, India.

Today: The YMCA IS...
A global ecumenical Movement working in 125 countries, with over 45 million members, empowering youth and transforming communities worldwide.



YMCA World 2010年12月号より抜粋翻訳

翻訳協力：榎田真季（日本YMCA同盟）

なお、すべての写真・原稿のコピーライトは、世界YMCA同盟（ジュネーブ・スイス）に属します。転載不可。